



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yasuo Ueno 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cyo, Ashiya, Hyogo, Japan  
 Mail : [uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp](mailto:uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp) Tel. 0797-32-9360  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)



## 主 題

国際協会会長 Joan Wilson  
 「私たちの未来は、今日から始まる」"Our Future Begins Today"  
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao  
 「ワイズ運動を尊重しよう」 "Respect Y's Movement"  
 西日本区理事 岩本 悟(熊本西クラブ)  
 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を」  
 "Energizing Y 'Men' Clubs with the Y's spirit !"  
 六甲部部长 長井慎吾(西宮クラブ)  
 「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ  
 活性化を図ろう」  
 芦屋クラブ会長 上野恭男  
 「ワイズの原点に戻ろう」

会 長 上野恭男  
 直前会長 五十嵐政二  
 副 会 長 柏原佳子・福原吉孝  
 書 記 柏原佳子・島田 恒  
 会 計 羽太英樹  
 監 事 田舎庸男  
 連絡主事 柳原謙介  
 六甲部交流主査補佐 五十嵐政二

**8**  
 Aug., 2016  
 231号

## YMCA のユースアクティビティ

島田 恒

YMCA は 1844 年、産業革命下のロンドンで産声を挙げた。資本家階級と労働者階級との格差は激しく、農村地区から出てくる労働者たちは賃金・休暇・安全・住居等で想像を絶する環境に置かれていた。青少年の健全な生活を願って、ジョージ・ウィリアムズが若い仲間と共に立ち上がったのは、若干 22 歳であった。今日、世界に広がり影響力を有している YMCA は、まさにユースの自主的な革新的活動に源をもっている。

21 世紀、私たちのユースの現実は大変大きく変化した。わが国では、学歴を求めて小学校高学年から塾通い、大学生はクラブ活動やさまざまな関心事に時間を削っている現実がある。経済的に豊かな環境のなかで、真の豊かさを深く求める風潮は時流とはいえない。

しかし、YMCA には学び・活動・交流等のなかで、真の豊かさに触れることのできる機会がある。時代が変わっても、経済的に豊かになっても、それを越えた真の生きざまが間違いなく存在する。YMCA は、キャンプや諸活動のリーダー、ボランティア活動、宗教的経験、それに伴う人間の交流を提供している。キャンプや国際ワークキャンプの機会、リーダーとしての働きやボランティア活動・・・、YMCA もワイズメンズクラブも心してユースに機会を提供し、真の生きざまへの道を開いていこう。YMCA はユースから生まれ、ユースに対する活動から始まったのである。

## 今月の聖句

競技をする人は皆、すべてに節制します。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするのですが、わたしたちは、朽ちない冠を得るために節制するのです。

コリント信徒への手紙一9章25節

## 8月西宮・芦屋両クラブ合同例会

と き： 2016年8月17日(水) 18:30~21:00  
 と ころ： ホテル竹園芦屋 3F宴会場  
 司 会： 足立康幸ワイズ(西宮)、福原吉孝ワイズ(芦屋)

開会点鐘	万本敬一西宮クラブ会長
クラブソング斉唱	
聖句朗読	小野勅紘ワイズ(西宮) 羽太英樹ワイズ(芦屋)
ゲスト・ビジター紹介	司会
食前感謝	小野勅紘ワイズ(西宮)
会食歓談	
演奏	ヒルビリー・オーサムズ
ダンス	スパイシーエンゼル
演技	随時披露
YMCA報告	柳原謙介連絡主事(芦屋)
誕生祝い	
皆さまご一緒に輪になって	山本容子メネット
閉会点鐘	上野恭男芦屋クラブ会長

## 7月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計 gm
メンバー	12名	出席者	12名	
ビジター	5名	メイクアップ	名	
ゲスト	2名	合 計	12名	
メネット	2名	在籍者	17名	
コメント	3名	(内広義会員1名)		
合 計	24名	出席率	75%	
				ニコニコ
				7月 17,190円
				累計 17,190円

## 7月第1例会(キック・オフ)報告

日時: 2016年7月20日(水)19:00~21:00

場所: 芦屋市民センター 203号室 (敬称略)

出席者: 五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子  
権甲植、篠坂幸彦、島田恒、畠中光成、羽太英樹、  
福原吉孝、坂東幸子、(各メン)五十嵐かほる、畠  
中由佳(各メネット) 柳原謙介(連絡主事)

ビジター: 長井慎吾(六甲部部長)、山本常雄(同会計)  
足立康幸(西宮)、大野智恵(神戸ポート)、高木宏  
(神戸ポート)

ゲスト: 菅原進、上野義治(島田友人)、ミリー&ローリー  
(五十嵐マゴメット)、琶子(畠中コメット)



7月第キック  
オフ例会は、  
五十嵐会長の「この1年  
は今までに  
ない珍しい  
国々を紹介  
し楽しい例  
会が出来た  
と思う。心からホットして  
います」と話されて、開  
会点鐘からスタートし  
ました。羽太英樹ワイズ  
の聖句の紐解きは、涙  
なくして聴くことが出来  
ませんでした。(別稿紹介)  
多くのゲスト・ビジター  
をお迎えし、中でも2回  
目ご参加の上野義治氏は

「毎回参加  
いたします」と嬉しいご  
挨拶、五十嵐ご夫妻のフ  
ランス在住のマゴメットは

多くのゲスト・ビジターをお迎えし、中でも2回目ご参加の上野義治氏は「毎回参加いたします」と嬉しいご挨拶、五十嵐ご夫妻のフランス在住のマゴメットは



マイクを向けると「おじい  
ちゃま お疲れ様でした」  
その素直な対応が微笑ま  
しく、また久しぶりの畠中  
ファミリーにもエールをお  
送り出来たようです。

長井六甲部部長は、「芦屋  
クラブさんの例会はいつも  
お手本にしたいと思

っていますが、今回は特に  
アットホームで素晴らしい  
。ワイズライフを楽しもう  
、しかし楽しいだけでは飽  
きてしまう。ボランティア  
活動にも力をいれたい」と  
話されました。



続けて会長交代式です。  
長井部長と山本六甲部会  
計の立ちあいのもと、「4  
つの1で始まる・・・」  
式文が格調高く読みあ  
げられ、上野新会長が宣  
誓し、

直前会長から現会長にバ  
ッジが装着されました。

権ワイズの朗々とした食  
前感謝の後にもりおかク  
ラブからの清酒(石巻広域  
クラブチャーター記念)熊  
本みなみクラブからの「く  
まもんのお煎餅」をご紹  
介いたしました。今回の  
目玉、上野会長お骨折り  
の「うな重」は大好評で  
した。元気を戴き、いよ  
いよ後半です。メンバーズ  
スピーチは「ブラジルあれ  
これ」です。上野会長が9  
歳の時、日米交換船でブラ  
ジルから帰国されるまで  
の記録を御父上の日誌か  
ら抜粋されたレジュメか  
ら戦争勃発の慌ただしい  
状況が伝わって参りまし  
た。「天気晴天なれど視  
界悪し」と綴られている  
文語体は美しく思います  
。帰国時の「日本ニュー  
ス」の動画も流されました  
。白黒の映像は暗黒の時  
代を迎えることを想像さ  
せませんが、船から降り  
る日本人はスーツ姿に帽  
子、女性もスーツにヒール  
、帽子とお洒落で姿勢正  
しく誇らしく思いました  
。一変して画面はカラー  
になりブラジルの食べ物  
、フルーツ、動物たちが  
紹介されサンバのリズム  
と映像がスクリーンに浮  
かびます。子供さんたち  
が参加とあって急遽入れ  
られたかと思いますが、こ  
ういう一面を持たれた会  
長がこの1年をどのように  
リードされるのか楽しみ  
ではあります。



サプライズは、韓国親睦  
旅行で細心の心遣いを戴  
いた権ワイズに、感謝の  
気持ちを込めて参加者一  
同から紅白のワインが贈  
呈され、喜んでいただき  
ました。(ワインの手配を  
篠坂ワイズお世話さま)準  
備なくして成功なく、と  
もあれ1年のスタートは  
大成功! 熱い1日を感謝  
で終わります。

ワインの手配を篠坂ワイズお世話さま)準備なくして成功なく、ともあれ1年のスタートは大成功! 熱い1日を感謝で終わります。

ワインの手配を篠坂ワイズお世話さま)準備なくして成功なく、ともあれ1年のスタートは大成功! 熱い1日を感謝で終わります。



ワインの手配を篠坂ワイズお世話さま)準備なくして成功なく、ともあれ1年のスタートは大成功! 熱い1日を感謝で終わります。

柏原佳子

何時も受付や準備、ありがとうございます

(写真は菅原進様提供)

## 「友のために自分の命を捨てること、

これ以上に大きな愛はない。」

＜ヨハネ福音書 15:13＞

ずいぶん昔の話になりますが、私は関学の中学部時代にグリーンクラブに所属していました。ある年、演奏旅行で和歌山県南部(みなべ)の田舎町に行き、そこで出会ったのが升埼外彦牧師でした。

金沢のお寺の子息として生まれ東京で学ぶ中、路傍伝道のキリスト教に触れて伝道者になる決心をするのです。それがため親から勘当されます。金沢を出た升埼先生は神戸の神学校に入り、賀川豊彦と出会います。そして島根県の田舎で伝道活動をし、その後、賀川先生の勧めで和歌山伝道を始めることになり、神戸港から和歌山に向かう途中、折からの台風で船は難破してしまいます。九死に一生を得て南部の海岸に打ち上げられたその地が神さまから示された土地だと感じた先生は、伝道拠点として知的障がいのある子どもたちの施設(紀南労務学園)を起こしました。土地の人たちはこれを「アホ学園」と呼んでいたというのです。

その学園に私たちグリーンクラブの中学生は一泊させてもらいました。その学園での一泊は今でも鮮明に覚えています。知的障がいのある「忠やん」と呼ばれていた少年の話を聞きました。忠やんは何年か学園で暮らしましたが、ある日忽然と姿を消してしまいます。数年たち、忠やんは船乗りになり働いていたのです。ある日、大しけに遭い、船は暗礁に乗り上げ、船底に穴が開き浸水がとまりません。「船長！船を陸に！」と船底から叫ぶ者がいます。忠やんでした。彼は自分の太ももを船底の穴に突っ込み浸水を止めていたのです。船員たちは必死になって水をかき出し、船は沈没を免れました。残念ながら、忠やんは右大腿部をもぎ取られ出血多量で死亡します。彼のことを「アホ忠」と馬鹿にしていた船員は、彼によって助けられたのでした。忠やんは升埼牧師から教えてもらった聖書の言葉の一つだけ覚えていました。それが今月の聖句です。もう一度読みます。

「友のために自分の命を捨てること、

これ以上に大きな愛はない。」

羽太英樹

## 六甲部第1回評議会

7月30日(土)六甲部第1回評議会が元町ラッセホールで開催されました。開会点鐘・ワイズソング・開会挨拶・etc.、定数確認(今期126名中59名の出席)の後、評議会は成立、芦屋クラブからは上野会長・五十嵐・柏原・篠坂・島田・羽太・福原・桑野(各ワイズ)8名が参加しました。

長井新部長から新役員・事業主査が紹介され、拍手で歓迎しました。2015-16年度の活動報告・会計報告及び会計監査等は滞りなく承認され、続いて新年度部長方針・活動計画が報告されました。部長主題の副題として「我々の足元を着実に」(8クラブの相互交流で、各クラブが真に活性化する道を見出そう)、六甲部の結束とメンバー増強がクラブ活性化に繋がると力強く語られました。



新年度会計予算は「入るを計って出を制す」の緊縮予算、「活動費が計上されていないのでは？」との質問も出ましたが、「収入の範囲内で支出を図るべきで、必要な事業費はその都度審議する」と予算の明白な意図を説明され、承認されました。

事業主査に続いて会長の方針事業計画の発表、上野会長は「ワイズの原点に戻ろう」の会長主題の下、方針・活動計画を具体的に語られました。

定刻に評議会は終わり、納涼懇親交流会が始まりました。

テーブルbuffetで次々と料理が運ばれ、ビールやワインのフリードリンク、各クラブの紹介と近況報告、例会へのお誘い等、和気藹々の内に時間はたち、YMCAの歌、閉会となりました。



桑野友子

## ツグミンお元気で！（最終回）

篠坂幸彦

◆《アメリカ花水木》が濃いピンクに色づき、足元に10株程の《日本水仙》が満開。すっかり春らしく《桜の蕾》もチラホラ、そして《ツグミン》の様子に気になることが、。◆ひとつはお目出度い事で時々スレンダーな彼女らしきお相手を連れて来る様になった。(カップリングは鳥類ではよくある習性)◆もうひとつ、彼の体形が何となくメタボと診断されてもおかしくないほどポッチャリに。◆以前、4月中頃に万博公園の《森林の中に架かっているウッドブリッジ》を渡って野鳥の観察をした際に50羽程の《ツグミンの団体さん》とバッタリ。そして「ああ 此処が彼等渡り鳥の長い旅立ちの《集合場所》なんだ」と勝手に想像した。◆だが集合時間に間に合ったとしても《ツグミン》は労せず私の勝手に好物ばかり与えられ《メタボ化》し、旅立つたとしても果たして皆と一緒に北上し最終目的地に着けるのだろうか。(ひょっとして青森あたりで、。と一抹の不安が)◆《自然回帰》に逆行している過剰なる給餌に自責の念を、。(近隣への迷惑も考慮して、野鳥に対しては餌の少ない冬季に限り給餌してはと専門書にあり反省。)◆いよいよ桜が満開となった頃、彼は思わせ振りに顔を見せる頻度が少なくなってきた。そろそろ集合場所の万博公園へ向かうのだろう。◆いさぎよく散った桜と共に覚悟はしていたがその時が来た。《メジロ》は勿論の事、《ツグミン》も顔を見せなくなった。その日、私はただひたすら彼が無事に皆と一緒に帰れる様に祈っていた。《ツグミンお元気で！ 又の日まで》◆《参考》《梅にウグイス》《ウグイス色》の言葉は万葉の時代の俗説であり当時は《メジロとの区別がつかなかったのだろう》と言われている。《ウグイス》は濃い茶褐色であり、《ウグイス色》とはほど遠く、鮮やかな濃淡グリーン《メジロ》と見間違えとか。また《ウグイス》は《梅の樹》には用事なく(脂質の物を好み)花には、ほとんど来ないと判明、一つの謎が解けた。

